

各位

上場会社名 ファースト住建株式会社
 代表者 代表取締役社長 中島 雄司
 (コード番号 8917)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 伊木 雅則
 (TEL 06-4868-5388)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	1,420	1,340	770	45.56
今回発表予想(B)	34,900	1,650	1,580	1,060	62.72
増減額(B-A)	900	230	240	290	
増減率(%)	2.6	16.2	17.9	37.7	
(ご参考)前期実績 (平成20年10月期)	35,094	818	721	54	3.23

修正の理由

売上高につきましては、完成在庫の販売促進や事業サイクルの短縮を行い、おおむね前回発表予想どおりとなる見込みとなりました。

一方、利益面につきましては、当第3四半期より表れ始めした建築原価の見直しによるコスト削減や適正な価格での分譲用地の仕入による利益率の改善が、各利益に対し予想以上に寄与したことから前回発表予想を上回る見込みとなりました。

また、上記の利益率の改善に加え、下記のとおり特別利益が計上されるため当期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上により、平成21年10月期の通期業績予想につきましては、売上高34,900百万円、営業利益1,650百万円、経常利益1,580百万円、当期純利益1,060百万円となる見込みであります。

(特別利益の発生)

従来より計上しておりました完成工事補償引当金のうち、当社が販売した2階建て戸建分譲住宅の設計における強度不足の発生に係わる補修工事費用及び現地調査費用について、効率的な現地調査方法の確立に伴い当第4四半期会計期間に当該現地調査が大幅に進展しました。これに伴い、新たに確立された方法による現地調査及び補修工事の実績に応じて見積もりの見直しを行った結果、完成工事補償引当金戻入額213百万円が特別利益に計上される見込みとなりました。

以上